

様に見届けていただく！」と決意を語っている。

上野学園石橋メモリアル+ ウィグモア・ホール共同事業第1弾!

昨年新装となった上野学園石橋メモリアルホール(船山信子館長)が、ロンドンのウィグモア・ホールと共同事業をスタートさせる。第1回目はロンドンを拠点に活躍する気鋭の作曲家、藤倉大に弦楽四重奏曲を委嘱、新作「Flare」が完成。世界初演に続くアルディッチィ弦楽四重奏団による日本初演は、石橋メモリアルホールで2012~2013年のシーズンに日本初演される予定。

募集

・財・明治安田クオリティオブライフ文化財団「2011年度音楽分野助成対象者」公募開始

クラシック音楽の分野における若手演奏家の人材育成を目的に財・明治安田クオリティオブライフ文化財団では「海外音楽研修生費用助成」制度の助成対象者を公募する。主な公募内容は次の通り。

☑対象者=原則として音楽大学卒業(予定)者及び大学院在籍者・修了(予定)者。対象専攻は器楽・声楽で、器楽は1983年9月1日以降に出生した人、声楽は1978年9月1日以降に出生した人で、2011年から2012年12月末までの間に入学可能、他財団から助成を受けない人。

☑助成人数・助成額=4人程度、年額200万円(2年間)。

☑応募〆切=4月22日(金)必着。

詳細問合せ、応募先は、財・明治安田クオリティオブライフ文化財団(〒160-0023東京都新宿区西新宿1-9-1-2F、☎03-3349-6194)まで。

・ザ・フェニックスホールの「弦楽四重奏公開マスタークラス&レッスン、受講生修了コンサート」聴講と入場者募集

ザ・フェニックスホールはジャパン・ストリング・クワルテットを講師に迎えて、若手の弦楽四重奏団を指導、育成し、併せて聴衆の拡大も図る教育・啓発事業「Phoenix OSAQA (Open String Academy for Quartet Artist)」を3月に実施するが、同ホールでは「公開マスタークラス&レッスン」の

☑音楽クリティック・クラブ賞=延原武春(指揮)——大阪フィルハーモニー交響楽団いずみホール特別演奏会〈ウィーン古典派シリーズI〉、〈同II〉に対して、中野慶理(ピアノ)

☑音楽クリティック・クラブ奨励賞=右近恭子(ピアノ)、川西みつなかホール(オペラ公演)

平井秀明、チェコヴィルトゥオーゴ室内管弦楽団の首席客演指揮者に就任

日本とヨーロッパを中心に活発な活動を展開している指揮者の平井秀明が、2010年11月よりチェコ・ヴィルトゥオーゴ管弦楽団の首席客演指揮者に就任した。この楽団は1997年にチェコ国立ブルノ・フィルハーモニー管弦楽団、チェコ国立ブルノ歌劇場管弦楽団の首席奏者を中心に結成され、平井が首席指揮者(創立指揮者兼客演指揮者)に就任したが、その後チェコ国内の政情不安定のため、フリーランス主体のオーケストラに転換、ヨーロッパを中心に幅広く活動を展開、現在はチェコを代表する室内オーケストラとしての地位を確立している。このオーケストラが近年新設されたチェコ国立ブルノ歌劇場モーツァルトホールでの定期演奏会シリーズを開始するにあたり、同シリーズなどの指揮のためこのたび客演指揮者に就任した。



平井秀明

東京シティ・フィルの音楽監督に宮本文昭



宮本文昭(©林喜代種)

東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団の初代音楽監督に2011年4月より、宮本文昭が就任する。同オーケストラで音楽監督制が設けられるのは初めてのこ

とである。宮本は長くフランクフルト放送交響楽団、ケルン放送交響楽団の首席オーボエ奏者として活躍し、2007年に引退、その後は指揮者として活動している。就任にあたり「存分に腕を揮い『積極的に音楽する』集団を作り上げ、完全燃焼の瞬間をお客